

気候変動が生活にどう影響するの？



漁獲量の減少

温暖化で海水温度が上がり、魚の生息域も変化。これまで三陸で取れていたサンマやアワビなどの漁獲量が減ることに。



温暖化による影響をイラストで紹介したポスター
出典:WWFジャパン「未来47景」

かつてスケート場としてにぎわった冬の高松の池(盛岡市)。近年は、厚い氷が張ることもほとんどない。盛岡市では、100年あたり1.7℃の割合で平均気温が上昇。

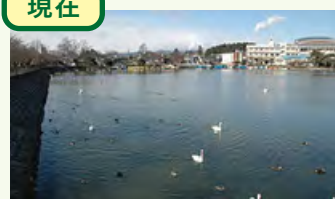
身近にある温暖化

過去



約55年前の高松の池(盛岡市)。氷が張り、スケート競技が行われたことも。

現在



最近の冬の高松の池。
写真提供(2枚とも):梅野克雄さん



平成28年台風10号により、龍泉洞の通路が水没。
写真提供:岩泉町

多発する災害

温暖化によって豪雨が増えると、川の氾濫や土砂崩れが起きやすい。県内でも洪水や土砂災害が相次いでいる。

農作物の品質低下

りんごの生育にとって高温は大敵。色づく時期に高温が続くと、赤くならない。平均気温が上がると、県内での生産量が減る可能性も。



高温によるりんごの着色障害
出典:農業・食品産業技術総合研究機構

温室効果ガス排出量実質ゼロとは

二酸化炭素に代表される温室効果ガスの排出量と森林などでの吸収量を差し引きゼロにすること。

未来の地球のためにできることを、ここ、岩手から

「特集①」温室効果ガス2050年排出量実質ゼロに向けて



ACTION!

地球温暖化防止のために行動(アクション)しよう

今、世界各地で、地球温暖化が原因の一つとされる深刻な異常気象が発生しています。大雨による洪水、干ばつ、森林火災や熱波など、今や地球は「気候危機」に直面しているといえるでしょう。岩手で暮らす私たちにとっても、他人事ではありません。ここ数年、豪雨・台風で県内に大きな被害が相次いでいるほか、サンマの漁獲量も

減少。また、シカやイノシシなどによる農業被害も増えていきます。このような現象は、二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスの増加による温暖化が影響していると考えられています。そこで県は、2050年までに、温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げて、温暖化対策に取り組んでいます。自然豊かな岩手の環境を守り、私たちの暮らしと未来の岩手のために、みんなでアクションを起こしましょう。

岩手県は、2019年に『温室効果ガス2050年排出量実質ゼロ』を目指すことを表明。

「いわてわんこ節電所」「地球温暖化を防ごう隊」などを通じ、県民ぐるみで二酸化炭素(CO₂)に代表される温室効果ガスの排出量を削減するためのアクションを進めています。



地球温暖化を防ごう隊

未来の地球で生きる小学生を対象に、地球温暖化に対する知識と理解を高めることを目的とした活動をしています。参加した小学生を、「地球温暖化を防ごう隊員」に任命。2019年度は、県内40校が参加しました。



隊員となった小学生は「隊員ノート」を使って、家庭でのこまめな消灯や節水などを実践。(遠野市立達首部小学校での学習風景)

いわてわんこ節電所

省エネに関心を持って行動することで、CO₂削減量を実感できるサイト。エネルギー消費の少ないライフスタイルへの転換をサポートしています。「家庭のエコチェック」に参加して、みんなでCO₂削減に取り組みしましょう。



<https://www.co2-diet.com/>



【特集①】温室効果ガス2050年排出量実質ゼロに向けて

未来の地球のためにできることをここ、岩手から

p01

【表紙の人】
— 支え合う関係・ベストパートナー

株式会社カダルミライ
大清水 吉典さん・五日市 洋さん
×
おもてなしの宿・おぼない
大建 宗徳さん・ももこさん

p05

【健やかで幸せあふれる 健幸レシピ】
岩手のお米×醤油だれ香るチキンのパエリア



新米がおいしい季節。1年の締めくりにぴったりの、ちょっと豪華なレシピをご紹介します!

p06

【特集②】新型コロナウイルス感染症対策
いのちと人権を守る
コロナ禍を乗り切るための行動とは?

p07

【特集③】4広域振興局からのお知らせ

p09

【いわて県民計画PICKUP】
子育てしやすい環境づくりを社会全体で考えましょう!

p11

【未来へつなげ!復興のバトン】
株式会社隆勝丸 平子 昌彦さん

p12

岩手県からのお知らせ

p13

クロスわんこ
読者アンケート・プレゼント

裏表紙

暮らしの中で
できること

省エネして CO2を削減

「自家用車をよく使う」「冬に暖房が手放せない」…そんな、エネルギーを多く消費しがちな岩手での暮らし。でも暮らしを見直せばエネルギー消費を減らし、光熱費を節約することも可能。そのヒントを、「うちエコ診断士」の花澤淳さんに伺いました。



●お話を伺った人
うちエコ診断士 花澤 淳さん
工藤建設株式会社自然エネルギー課に勤務しながら、うちエコ診断士として活動中。奥州市在住。



ですが、冷気が入らないようカーテンの長さを工夫したり、シーリングファンを使って暖かい空気を循環させたりするのも効果的です。

(Q)寒い岩手の冬。省エネで、CO2も減らせる暖房は？

(A)「一番良いのは薪ストーブですが、住宅によつては現実的ではない場合も。エアコンなら、2週間に1回フィルターを掃除するだけで、5〜10%も暖房効率が上がります。できるだけ熱を逃がさないためには、断熱リフォームが効果的

(Q)エネルギー効率の良い暮らし方は？

(A)「家族が時間を空けずに風呂に入る」でできるだけ同じ部屋で過ごす」などの一家団らんは、省エネに効果があります。また、照明を従来の蛍光管からLEDにするだけでも、省エネになります。ぜひできることから始めてみましょう。

うちエコ診断士に相談するには
いわて県民情報交流センターアイーナ5階、岩手県地球温暖化防止活動推進センターで受付中。ライフスタイルに応じたCO2削減対策を提案します。
(TEL: 019-606-1752)



エコで快適な 建物のモデルに

欧州基準の建物で環境に優しく

平泉ドライビングスクールは、校舎を建て替える際、省エネ化を進め、CO2排出量を大幅削減を実現。年間の光熱費が200万円も節約できました。

県産木材をふんだんに使った高気密高断熱の建物は、一年中20〜23度の室温に保たれ、快適そのもの。取締役会長の田村満さんは、自ら欧州を視察するなど積極的に取り組みを進め、新校舎を持続可能な建築にシフトしました。



「交通事故を減らし、命を守る自動車学校。ヒートショックを起こさない快適な環境で学習してもらうことも大事です」と田村満会長。



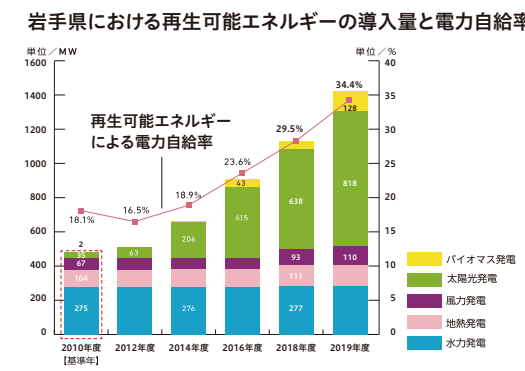
館内にセンサーを設置し、温度、湿度、CO2濃度を可視化。室内環境とエネルギーをモニタリング。

化石燃料に
頼らない

全国でもトップクラス 岩手県は 再生可能 エネルギー王国

CO2削減

再生可能エネルギーとは、太陽光や、水力、風力、バイオマス、地熱などを使ったエネルギーのこと。「CO2を排出しない」「資源が枯渇しない」といったメリットがあります。自然豊かな岩手県は、再生可能エネルギー王国。自然環境や景観に配慮しながら、導入を進めています。



太陽光

太陽光発電は、一般住宅用から事業用まで導入が進んでいます。沿岸南部などは、日照条件が良く太陽光発電に適しています。

風力

岩手県は県土が広く、安定した風に恵まれた地域が多いため、各地で風力発電の導入が進んでいます。

地熱

国内初の地熱発電所である松川地熱発電所を含む3つの地熱発電所が稼働。松川、葛根田、松尾八幡平地熱発電所の合計出力約111メガワットは、国内3位の規模です。

水力

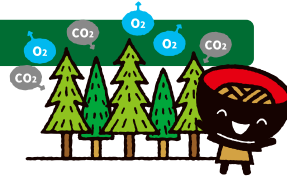
水資源が豊富な岩手県営16力所をはじめ、県内に50力以上の水力発電所があり、現在でも最も多くの電気を作りだしています。

バイオマス

バイオマスとは、化石燃料以外の動植物由来するエネルギー資源で、木材、牛や豚などの糞尿、生ゴミなどのこと。県土の約8割が森林である岩手県にとって、木質バイオマスは持続可能なエネルギーです。

森林はCO2を吸収するタンク

植物は、光合成をすることでCO2を吸収し酸素を作り出しています。全国で2番目に広い森林面積を持つ岩手県は、CO2の吸収源が豊富。森林を大切にしましょう。



北岩手のチャレンジ

久慈市は エネルギーの 「地産地消」を目指す

久慈市は、「再生エネルギー100宣言 RE Action」に参加。2050年までに、市の保有施設で使用する電力を100%再生可能エネルギーでまかなうことを目指しています。その第一弾として、2020年4月、市内の滝ダム発電所の電気を購入し、久慈市アンバーホールへの供給を開始しました。また、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを表明している同市は、省エネ活動や再生可能エネルギーの設備



久慈市生活環境課の神先さん(左)と企業立地港湾課の島袋さん(右)

滝ダムで発電された電気を使う久慈市アンバーホール。100%再生可能エネルギーを使用。



導入などを促進。同時に、CO2吸収源の確保のため、豊かな森林を守る取り組みも進めています。さらに同市は、北岩手8市町村などとともに横浜市と協定を締結。北岩手で創られた再生可能エネルギーの活用に向けた検討や人口が多い横浜市での観光PRなど、お互いの地域資源を生かした交流が進められています。